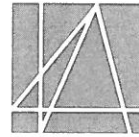


清流



No.34

●発行 社会福祉法人 かな会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

「チャレンジする気持ちを大切に」



障害者就業・生活支援センタートータス

所長 亀井 あゆみ

障害者就業・生活支援センタートータスは、平成20年よりかな会が群馬労働局と群馬県から委託を受けて行っている事業です。

今年度でセンターが開所して8年目になりました。群馬県内には、このようなセンターが8ヶ所設置されていますが、当センターの担当圏域は、藤岡市・多野郡と富岡市・甘楽町が主な担当圏域になっています。

普段センターでは、どのような活動を行っているかご紹介させて頂きます。センターの名称に「就業」と「生活」と付くように、仕事を探している段階から仕事に就いて長く続けていけるような就業支援と働くために必要とされる生活支援を行っております。センターをご利用頂くにあたって、登録制とさせて頂いております。これから支援に必

要とされる色々な聞き取りをしながら、今後どのような目標を決めて進めていくか、一人一人に合った支援を計画していきます。

また地域にお住まいの障害者を持った方への支援だけではなく、地域の企業に対しても支援を行っております。企業には従業員数に応じて、障害者雇用促進法という障害者手帳を持った方を雇用しなければならぬ法律があります。

企業に対して雇用に向けた相談やどのような方が就職を希望されているか情報提供を行い、雇用を進めていくにあたっての準備もお手伝いしております。障害を持った方と企業の間に入って、障害者雇用がスムーズに進むように橋渡しや調整する役目も担っております。

の方が登録頂いております。ご相談を受ける中で、全く仕事の経験がない方や今まで働いたことがあるけど自信がない、少し仕事から離れていた時間が長くてどんな仕事ができるかわからない等、さまざまな相談を受けます。その中で無理をせずに着実に進めて行ける方法を一緒に考え、就職するために必要なことを整理していきます。人によっては地域の就労訓練施設を利用して、体力作りや生活習慣を身に付けていく準備からスタートする方もいらっしゃいますし、企業を見学して、実際に企業で仕事の体験を通して、就職に向けて進めて行く方もいらっしゃいます。

「働きたい」気持ちや意欲が強ければ強いほど、活動をしている中で、焦りや決まらなってしまう方もいらっしゃいます。それでも人によっては掛かる時間も違ってきますし、自分に合った仕事に出会えるタイミングも違ってきます。

就職に向けてチャレンジすること、不安もあると思いますが、その反面で得られることは沢山あります。たとえ少し遠回りをして、チャレンジした結果が、もしうまく行かなかったとしても、何でもチャレンジすることは可能だと思っています。やってみたこと体験したこと、次にどうしていったら良いか、また一緒に作戦を練ることもできます。「働く」ということで得られる大きなものは「収入」かもしれません。でももっと大きなものは「自分の居場所」があることが一番ではないかと感じています。収入や生活が安定していたとしても、自分が必要とされ毎日通える場所があること、頑張っていると認めてもらえる場所がある。そういった日々の喜びがあつて働く意欲に、それが生きていく人生の中で「働くこと」で得られる一番大切なものではないかと思っております。大切なものを得られるように、これからは「輝ける場所」に出会えるお手伝いをしていきたいと思っております。



27年度を振り返って

利用者の健康と食事

保健管理委員会報告 (28・3・30)

健康面より

医務職員 石田より子

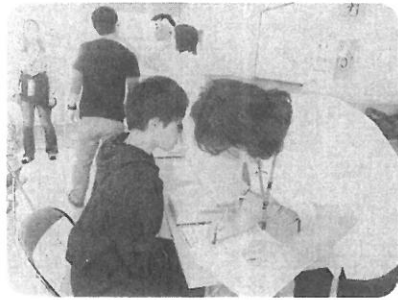
1. 感染症に関しては、インフルエンザの罹患者は、利用者・職員ともに無かった。過去には、インフルエンザの発生は平成14年度より27年度において、19年度に5人、20年度に26人の記憶があるも、それ以外は発生はない。

また、感染性胃腸炎では、平成25年12月から26年1月にかけて27人もの罹患者が続出したが、このことを教訓に初期段階での対応が功を奏し、26・27年と嘔吐者が出ては流行しないので収束できている。

よって、口腔衛生の管理、不健康者の隔離、厨房の食事への細やかな対応、汚物等の取り扱い、日常の健康チェックなど今後も引き続き行っていく必要がある。

2. 27年度は、例年になく、入院者が多く、利用者の高齢

化、重度知的障害者の自閉症者への対応・投薬調整の難しさ、保護者の役割などを考えさせられた。



秋の健康診断 (健康づくり財団)

食事関係

栄養士 柴崎由佳菜

3. 40才以上が6割、65才以上が1割となり、今後、病気の増加も見込まれる。症状や自分の不都合さの訴えがでない利用者なので、日常の観察をしつかり行い、小さな変化に気がついていける支援職員にもなって貰えるよう、医務の立場から声を出していこうと思う。これからも、

1. 利用者の食事の変更等

(一例)

Oさん——食形態の向上の

為、常食に近い形で提供し、食べることが可能か見ている。

体重増加の為、お茶ゼリーに粉飴65g (250 kcal) を入れて提供している。

Rさん、Tさん——一度に

沢山つめ込み、早食いしてしまうので、2回食の提供をし、間で一度居室に戻って貰っている。

Kさん——高齢のため食べ

にくい物は残すので、調理済みの既製品を代替えとして使っている。また食べ易いよう上からとろみをかけている。残食が減り、以前より食べる量が増えた。

Nさん、Sさん——周りを

気にしすぎるので、2人の間にパトーションを作り、そ

中、上がり、周りを気にすることがあるが、以前よりは食事の時間が短くなっている。

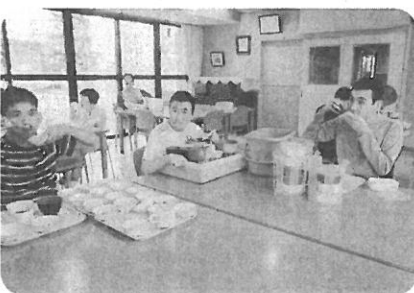
2. まとめ

月1回の摂食嚥下会議の中で、色んな議題や問題が出たが、みんなで意見を出し合っ

て、より良い食事の提供方法にすることができた。27年度から、日本人の食事摂取基準が改正され、毎年利用者の食事や適正カロリーを見直すことにより、それぞれ適正カロリーと食事を提供できるのではないかと思う。

また、藤岡保健福祉事務所の給食関係者講習会で、一昨年発表した研究発表をする機会も頂き、そのことで、藤岡市の色々な施設の方の食事の提供方法に興味があった。

28年度も利用者1人1人をよく観察し、適正な食事を提



食事風景

供できるよう努めていきたい。さらに、厨房の職員みんなで自閉症についての勉強も少しずつできたらいいな、と思っている。

日々研鑽して、利用者・職員の健康管理に努めていきたい。



藤岡市福祉支援センター

〈生活介護事業〉

「らいちようさむかろ、らりるれろ、れんげがさいたらりのとり・」北原白秋の「あいいうえおの歌」で発声練習をし「朗読の会」が始まります。大きな声で文章や詩を讀んで「表現する」ことの喜びを共有しています。市立図書館の讀み聞かせの会の先生に紙芝居の模範演技をしていただき、夢中で見入りました。その後、自分で色々なお話に挑戦し、楽しんでいきます。その他書き方教室、数の教室などの時間を設け、日々の生活に「学び」を取り入れています。

(記：生活支援員 安積美紀)



もくせい

〈就労継続B型事業〉

就労継続支援B型事業は、就労班6名、作業班15名、計21名の利用者さんが所属しています。就労班は清掃作業や生活訓練など、所外活動を中心に活動してきました。作業班はコミュニケーションスキル向上を目的に、毎週新聞記事の讀み合わせを行っています。讀み合わせは皆さん楽しみにしている時間で、記事の内容について積極的に質問したり意見を言ったりと会話を楽しんでいきます。今年度も「会話」を大切に取り組んでいきたいと思えます。

(記：職業指導員 萩原英幸)



もくせい 平成27年10月～平成28年3月の主なできごと

- 10月
 - 高崎市内障害者福祉施設3名来所見学(13日)
 - 本庄特別支援学校1名職場実習(19～24日)
 - あきんどスシロー(榎塚店)開店外食招待(26日)
 - もくせい内スポーツ大会(30日)
- 11月
 - 利用者健康診断(6日)
 - 関東地区知的障害関係施設種別代表者会議(10・11日、埼玉県大宮市)
 - 高崎特別支援学校在校生4名来所見学(18日)
 - 群作連第三ブロック交流会(19日、藤岡市生涯学習センター体育館)
 - 群作連職員研修(20日、群馬福祉会館)
 - 日帰り旅行(20日、こんにやくパーク他)
 - 利用者インフルエンザ予防接種(26日)
- 12月
 - クリスマス会(下旬、事業毎)
 - 保護者会・納会(28日)
 - 冬季休暇(29日～1月4日)
- 1月
 - かなな地域支援セミナー(9日、みかぼみらい館)
 - 市障害者団体新年会(23日、藤岡商工会議所)
- 2月
 - 節分まめまき(3日)
 - 藤岡消防署立ち入り検査(15日)
 - 利用者個別面談、個別支援計画策定(17日)
- 3月
 - 防災訓練(22日、藤岡消防署立ち会い)
 - 高崎高等特別支援学校3名来所見学(24日)
 - 年度末食事会(31日、サンピア高崎)

マロニエ

平成27年度を振り返って

サービス管理責任者

松浦 敏幸

平成27年度は、個性豊かな18名の利用者さんと様々な活動を行いました。

11月のグループ外出では、みかん狩り・ボーリング・映画鑑賞の3つのプランの中の1つに参加する形で、計5班に分かれ、少人数で行ってました。無事に全員参加することができ、多くの笑顔や普段なかなか見ることのできない意外な一面を見ることができたりと楽しい時間を過ごすことができました。

2月のあすなろ祭では、マロニエから出展した作品が金賞を頂き、毎日コツコツと皆で一生懸命頑張って行ってきたことが結果に表れ、本当に良かったと思います。実際に見学に行き、金賞を頂いたことを知った時の嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。

平成27年度に引き続き、今年度も安心・安全に過ごせながら、充実した日中活動を送ることができるよう努めていきたいと思えます。

マロニエ 平成27年10月～平成28年3月の主なできごと

- 10月
 - スシロー招待(26日)
 - 音楽会(29日)
- 11月
 - 健康診断(6日)
 - インフルエンザ予防接種(19日)
 - 職員研修旅行(1班)(20・21日)
 - グループ外出 みかん狩り(12・23・27日)
 - グループ外出 ボーリング(17日)
 - グループ外出 映画会(18日)
- 12月
 - 藤岡特別支援学校学習発表会見学(4日)
 - 職員研修旅行(2班)(11・12日)
 - クリスマス会(23日)
 - もちつき・大掃除(28日)
 - 冬季休暇(29日～1月4日)
- 1月
 - はしご(出初式)(8日)
 - 第16回地域支援セミナー(9日)
 - ゆっあいフェスティバル見学(18・20日)(雪の為、実際に行けずは19日のみ)
 - 新年会(29日)
- 2月
 - 節分・豆まき(3日)
 - あすなろ祭見学(26日)
 - お楽しみ外出(イチゴ狩り+昼食+外食)(2・5・10・12・23日)
- 3月
 - 退所者お別れ会(31日)



▶映画会



▶あすなろ祭金賞受賞作品

ポプラ

開所して3年目、春から新たに3名の利用者さんも増え合わせて18名の利用者さんが毎日、賑やかにポプラで過ごされています。

今回は1月に行われた新年会の様子を紹介したいと思います。新年会は保護者も参加する数少ない行事の一つで利用者さんたちの楽しみな行事となっています。場所は高崎サンピア。当日は朝から皆いつもと違う雰囲気、玄関に貼ってある「本日の予定」を何度も確認する人や職員に出発の時間や食事のことなどを聞く人など色々でした。11時過ぎにサンピア送迎のバスにのり出発し、12時新年会の開始です。はじめに食事タイム。おいしい料理の後は新成人の二人のお祝い(高田拓実さん、松井勇貴さんおめでとうございます)。カラオケ大会、ビンゴ大会、新年の抱負発表と続き、最後に思い出のスライドショー上映会。ポプラの一年間の思い出を写真で振り返っています。次々にスクリーンに映しだされる、ポプラでの何気ない日常の風景や行事・外出などの様子。一年間あつという間でしたが本当に色々なことが有り、楽しい時間を共に過ごしていたことを改めて感じました。保護者の皆様にも普段の様子を見てもらう良い機会となりました。

ポプラ 平成27年10月～平成28年3月の主なできごと

- 10月
 - ・日帰り旅行 軽井沢おもちゃ王国 (1・2・6日)
 - ・東京都立墨田特別支援学校実習生 (7・8日)
 - ・高崎特別支援学校実習生 (19・23日)
- 11月
 - ・高崎特別支援学校実習生 (2・6日)
 - ・定期健康診断 (6日)
 - ・バーベキュー (18日)
 - ・インフルエンザ予防接種 (19日)
 - ・おたのしみ外出 みかん狩り (24日)
 - ・おたのしみ外出 映画館 (26日)
- 12月
 - ・職員研修旅行 (11・12日)
 - ・クリスマス会 (23日)
 - ・大掃除・もちつき (28日)
 - ・冬季休暇 (29日～1月4日)
- 1月
 - ・地域支援セミナー (9日)
 - ・ゆうあいフェスティバル見学 (18・20日)
- 2月
 - ・新年会 (28日)
 - ・節分豆まき (3日)
 - ・イチゴ狩り外出 (17・18日)
 - ・あすなろ祭見学 (26日)
 - ・施設実習・明和学園短期大学2名 (29日～3月15日)
- 3月
 - ・避難訓練 (28日)



（かな会 かなの里 平成27年10月～平成28年3月までの主なできごと）

- 10月
 - ・長野市民生委員視察 (1日)
 - ・日帰り旅行 (6・14日)
 - ・保護者会旅行 (アラスカ) (13日)
 - ・東中学校藤樹祭に招待される (23日)
 - ・音楽会 松花堂弁当 (29日)
- 11月
 - ・しのもめ信用金庫に絵画展示 (2・30日)
 - ・研究発表(松浦敏幸「再構造化を続けて」) 最優秀賞 (5日)
 - ・定期健康診断 (6日)
 - ・消防立入り検査 (9日)
 - ・東朋会清掃ボランティア (18日)
 - ・インフルエンザ予防接種 (19日)
 - ・職員研修旅行(神奈川県弘済学園) (20・21日と12月11・12日)
 - ・介護体験 (23・29日)
- 12月
 - ・排煙オペレーター更新工事終了(12日)
 - ・避難訓練(夜間想定、15日)
 - ・職員駐車場、正門前に完成 (17日)
 - ・クリスマス会 (21日)
 - ・理事・評議員会 (25日)
 - ・もちつき、大掃除、帰省 (28日)
- 1月
 - ・はじまり(若鷺会、8日)
 - ・第16回地域支援セミナー(佐々木常夫氏、9日)
 - ・保護者新年会 (15日)
 - ・ゆうあいフェスティバル (18・20日)
 - ・エアコン交換工事終了 (20日)
 - ・発達障害支援者専門研修(泉より6名)
- 2月
 - ・関東短大生実習 (1日から11日間)
 - ・消防設備点検 (4日)
 - ・作業班別外出 (12・17日・3月9日)
 - ・群社専生実習 (15日から11日間)
 - ・群馬医療福祉大生実習 (15日から12日間)
 - ・第30回あすなろ祭 (26・27日)
 - ・育英短大、明和短大生実習 (29日から11日間)
- 3月
 - ・他施設職員見学 (7・14日)
 - ・高崎特別支援学校保護者会見学 (9日)
 - ・理事・評議員会 (25日)
 - ・保健管理委員会 (30日)

編集後記
 待望の駐車場が正門右横に完成し、職員も保護者もホッとしています。(N・S)



沢山の善意
 ありがとうの気持ちを
 (平成27年10月～平成28年3月)
 (順不同・敬称略)

藤岡市立東中学校生徒会、金井 淀、スシロー高崎飯塚店、須貝伸一、浅川節子、市光工業労働組合他

★☆☆☆
かなの里 平成27年度
〈事故・苦情受付〉
・事故報告 計46件
 内訳
 薬の落葉等 34件
 転倒 9件 所在不明 5件
 利用者による加害行為 5件
 器物損壊 3件



・苦情、要望受付 4件
 件数は減ってきているが、保護者とのコミュニケーションを密にし、信頼関係を築いていきたい。

昨年同様、薬の事故が多かった。特に落葉が多く、完全に飲むのを見届け、すぐに周りもそうじする転倒はバランスの悪い人が増えたため。所在不明、加害行為は特定の人に偏っているのが要注意。事故を未然に防ぐ努力を更に行っていく。